



とっばずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1894



いちご狩り (いちごの里) 栃木県小山市 提供: 宮内宗一会員

第1894回 例会 平成23年2月1日

点 鐘 … 杉浦 武 会長
 国 歌 … 君 が 代
 ロータリーソング … 奉 仕 の 理 想
 来訪ロータリアン紹介
 … 親睦活動・家族委員会
 会 長 挨 拶 … 杉浦 武 会長
 御 祝 披 露 … 杉浦 武 会長
 誕 生 祝 … 網中 吉郎 会員(1月29日)
 狩野 勉 会員(2月1日)
 結婚記念日 … なし
 入会記念日 … 石上 明宏 会員(1月29日)

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話
「親睦委員会」 澤井 博 会員

出 席 報 告 … 出 席 委 員 会

来週のパログラム(平成23年2月8日)

卓 話
「未定」
(株)銚子タクシー 吉原 正巳 氏

幹 事 報 告 … 長谷川 弘 幹事

お食事「常鮪」



地域を育み、大地をつなぐ

2010~2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

(Ray Klinginsmith)

第 1893 回例会(平成 23 年 1 月 25 日)

会長挨拶

杉浦 武

1 月 18 日両 R C 合同例会が開催され、大勢の会員皆様のご出席ありがとうございました。合同例会開始前、銚子プラザホテルにて第 7 回定例理事役員会が開催されました。① 2 月例会スケジュールの件、② 親睦会収支決算書の件、③ 第 7 分区 I. M の件、④ R Y L A の件、⑤ 2010 - 2011 年度委員会構成変更の件、⑥ 千葉科学大学ローターアクトクラブ 2009-10 年度会計報告の件、すべて承認されました。I M は 2 月 26 日 (土) 点鐘 13 : 30 「黄鶴」に於いて開催されます。R Y L A の件は、千葉科学大学学生に参加要請しております。委員会構成変更の件については、吉田孝至会員 (広報・会報委員長) 退会のため、石上明宏 広報・会報副委員長を委員長と決定いたしました。委員長が変わりましたが、今まで以上のご協力をお願い致します。宮内宗一会員には表紙を飾る数多くの写真のご提供ありがとうございます。毎回楽しみにしております。

1 月 22 日 (土) 旭市ホテルサンモールに於いて、分区会長幹事会が開催され、出席して来ました。小関ガバナー補佐は元気な様子で、会議終了後お酒を酌み交わし、閉会后二次回に歓楽街へ向かったようです。議題は、I M がメインで会員皆様には後日詳細が分区より届きますのでお知らせいたします。

さて、カルヤン・バネルジー R I 会長エレクトが、サンディエゴ (米国カリフォルニア州) で開催されている国際協議会で、2011-12 年度の R I テーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」2011 年国際協議会の開会本会議において、次年度の R I テーマを発表し、ロータリアンの決意と内なる力を鼓舞しました。「何かを成し遂げようと思うなら、ありとあらゆる知恵を振り絞らなければなりません。それには、まず自分自身の内側から始めるしかないのです」。内に秘めた力を見出せれば、世界各地で偉大なことを成し遂げることができると話します。

「自らを発見し、潜在的な力を引き出し、迷わず、ひるむことなく、『出でて奉仕し』、世界で博愛を広げてください」会長エレクトはまた、「家族」が奉仕の原点となると強調します。「私たちの住む地域社会とは、単なる個人の集まりではなく、家族によって築かれています。一つ屋根の下に暮らし、互いを支え、助け合い、共に運命を分かち合っているのが、家族というものです。良き家族が、良き隣人となり、良き地域社会をつくるのです」。ポリオ撲滅などの活動を継続する重要性も強調します。

「私たちには得意とすることが数多くある」と話す会長エレクトは、きれいで安全な水の提供、識字力の向上、明日のリーダーとなる青少年の育成を例に挙げます。

「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」というガンジーの言葉を引用して会長エレクトは語ります。「平和を望むなら、家庭に、地域社会に、自分自身の生活に平和をもたらすことから始めるのです。環境破壊に歯止めをかけ、子供の死亡率を

減らし、飢えを減らしたいと望むなら、自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それにはまず、自分自身の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければなりません」と R I 会長エレクトは申します。次年度のテーマが決まり、着々と 2011-12 年度に向けて進んでいます。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
 - ・次年度 R I テーマ発表
 - ・2 月ロータリーレートのお知らせ 1 \$ = 8 4 円
 - ・2011~2014 年度試験的プログラム 受領
 - 2・ガバナーエレクト 山田修平様より
 - 11-12 年度国際ロータリーのテーマ 受領
 - 3・銚子商工会議所より
 - 平成 23 年新春講演会実績報告書提出について 受領
- ☆週報受領 鹿島臨海 R C

卓 話

「スピーチコミュニケーションについて」

NPO 法人 国際教育推進プロジェクト B e C O M
武内 達彦 氏

1. イントロ (ごあいさつ & お礼)

本日は、銚子東ロータリークラブ様の例会にお招き頂きまして、本当にありがとうございます。

日頃より大変お世話になっておりますロータリー

クラブの皆様方の前で、今回、お話させて頂く機会を頂戴いたしましたことを恐縮しつつも、大変光栄に思っております。大先輩の皆さま方の熱い視線に少しでもお応えできますように、精一杯務めさせて頂きたいと思っております。

本日はスピーチコミュニケーションというテーマでお話しさせて頂きますが、主に B e C O M の活動の中で毎年絶大なるご支援とご協力を頂いております C O M 杯英語・日本語スピーチ大会のことを、具体的にご紹介したいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

2. 自己紹介

はじめに、簡単な自己紹介をさせて頂きたいと思っております。日本で語学学校と大学を卒業後、アメリカのワシントン州シアトルにて、国際企業研修プログラム (International Business Professions Program) に参加しました。シアトルといえば、マイクロソフトやスターバックスの本拠地として有名ですが、当時は野球のイチロー選手のメジャー初挑戦もあり、空前のシアトルブームでした。勉強や企業でのインターンシップの傍ら、現地日系人の方々を対象としたウェブ上を主としたコミュニケーションの場を提供する NPO 活動の、SNOB プロジェクトという団体の PR・渉外

スタッフとしてお手伝いもしていました。→その後、シアトルの E ビジネスの企業に就職、親会社に異動

国際営業部：日本法人、現地日系企業との渉外担当
帰国してからは、父の仕事を継ぎ、武内英語スクールと、千葉科学大学にて英会話を、また、学校法人妙福寺学園 銚



子幼稚園にてレッスンをしております。

その頃、代表理事の西田美樹とお会いしたことをきっかけに、スピーチ大会サポートのため、NPO 法人 BeCOM に参加しました。(COM 杯英語・日本語スピーチ大会運営責任者)

3. BeCOM の活動について

特定非営利活動法人 国際教育推進プロジェクト BeCOM は、『Be a Communicator! : グッド・コミュニケーターになろう!』という言葉が由来です。

●設立趣旨

人が生まれ育つ。ここには、社会を構成する大人ひとり一人の自立、生きる理念を伝えようとする気概、さまざまな角度から与えられる創意工夫に満ちた刺激、そして安心を約束された時間が必要であると思います。

私達は、教育のあり方を考える機会の創設や情報の提供、社会教育活動への支援や実践を通じて、国際的視野をもち意思伝達(コミュニケーション)活動のできる人材を育成するとともに、よりよい社会教育環境づくりを目指す非営利団体です。

教育の今が、社会の明日を映し出すことを信じて、責任ある団体としてより良い活動を公益的に行うために、ここに特定非営利活動法人 国際教育推進プロジェクト BeCOM を設立する次第です。

これまでの活動内容としては

●コミュニケーション能力育成推進事業

◎COM杯 英語・日本語スピーチ大会(2000年度～)

※関連: COM杯ワークショップ(2005年度)

◎銚子市チャレンジショップ事業(2003～2006年度実施)

※銚子市との協働事業

◎地球とギュっする HugNet(2003～2007年度実施)

※関連: 事前出前授業 HugNet キャラバン(2005年度)

※文部科学省他主催「インターネット活用教育実践コンクール」

平成18年度 経済産業大臣賞 受賞

●セミナー企画事業

◎銚子で元気イングリッシュ(2004年度実施)

◎野村尚克氏講演会「だから私はこれを買う」(2009年度実施)

※地域づくり団体協議会支援事業

◎日本語暗唱教室(2008年度～)・同大会(2007年度～)

※2008・09年度は(財)伝統文化活性化国民協会による助成。

●多文化共生事業

◎映画「アババとヤーバ」上映及びシンポジウム(2009年度実施)

◎Meet Meal Project～食の視点で考える多文化共生～(2009年度実施)

※以下4企画によるプラットフォーム型事業

①銚子在住外国人・留学生による食ブログ(5/24～2010年2月)

②ふうど(風土×FOOD)スタディーツアー(8/29)

③楽習!食と多文化クイズショー(11/7)

④ワールドフードフェスタ(11/22・23)

●すきくる運営事業

◎銚子ポータルサイト すきくちよくるちよ(2005年度～)

※(財)地域整備総合財団 e-地域ビジネス助成事業

◎すきくる×大吠WAON First Star Project(2010年度～)

●地場産品等PRコンテンツ等作成事業

※緊急雇用事業 ※銚子市より受託

(パンフ資料参照)

このように、現在進行中の事業も含めまして、たくさんの皆さまからのご理解とご支援・ご協力を頂きながら、お陰様で数多くのプロジェクトを行ってきております。

4. COM杯英語・日本語スピーチ大会について

これまで長期にわたり、絶大なるご支援を頂いておりま COM杯スピーチ大会ですが、実際にはどのような大会であり場なのか、ロータリークラブの皆様、大会参加者のメッセージを直接ご紹介したいと思います。タイトルは、『My Wonderful Slow Life: すばらしき私のスローライフ』です。

『皆さん、こんにちは!僕は敬太といいます。お会いできて光栄です。ところで、みなさんは毎日どのように時間を使っていますか?自分自身がしあわせで、満足感を持って過ごせてますか?僕はダウントOWNというよりは多少郊外に暮らしています。そのため、日の出日の入り、鳥たちの歌声やかえるの行進を眺め、大自然を満喫して生活しています。』

こんなにも健やかに育ってきた僕ですが、この僕にも悩みがあります。それは、毎日の生活に追われ、強いストレスを感じるのです。時のたつのを日々感じながら、何も変わらない自分に焦るのです。しかし一方では、僕のお父さんはとてもマイペースで、とても頑固です。まるでどこかの国の王様のように、自分の好きな物を食べ、飲み、そして寝る。特に野球中継の事となると、その王様の権力の誇示はいっそう強くなり、「敬太、勝手にチャンネルを変えたな!」と言って、僕は家から放り出される事もありました。

そんな父が、昔から僕に口うるさく言う事のひとつに、あいさつがあります。「敬太、あいさつはな、とっても重要なんだぞ!どんなときでも忘れちゃいけないんだ!」と本当に小さい頃から、まるで村の古い言い伝えのように聞かされているので、耳にした回数はおそらく数万回に達するのでしょうか。ですから、何も疑うことなく僕はその教えを守り、人に会うたび毎回やってきました。しかし最近では、色んな物事の重要性に疑問を感じ、「一体どんな意味があるんだ?これをして何になるんだろう?」と考え込んでしまいます。思春期なのかも知れませんが、人と話をしたくない時だってある、可愛い女の子のことを考えたり、将来のこと、そして先行きの見えない年間問題を心配したりするのです。落ち着いている余裕なんてありません。

現代社会では、「スピード」と「変化」という言葉が、すべての事において大前提となっています。そして、僕らは毎日どこかでこう云われます。「寄り道なんてせずまっすぐ帰りなさい!」「必要なものだけ残して、要らないものはどんどん捨てなさい!」「人として、受験生・社会人として、自分の特技・特色を持ちなさい!」「新しい機能を沢山つけて、他とは変わった売れる商品を作りなさい!」「新しい法律や憲法、システムを取り入れて、新しい国に生まれ変わろう!」確かに、目新しいものには魅力があります。大きな可能性を信じ、そして期待する。だからこそ、今ある普通のモノよりも、新しい変わったモノに心を奪われるのです。しかし、それは単にプラスアルファの部分で、メインではありません。我々にはいつも、変えてはいけな

なくてはならない大切なものがあります。それは情熱であり、コミュニケーションであり、あいさつです。

父は家にいると王様ではあるけれども、とても情熱家です。朝早くから家を飛び出し、接待など含め夜更けまで頑張っている。仕事相手や近所の人達にはもちろんのこと、たとえ自分より年下であっても、しっかり丁寧にあいさつをし、お辞儀までする。とてもプロフェッショナルだ。あいさつは、人をつなぐ最初のきっかけであり、「いつもありがとう」という感謝と、「あなたの事に気付いています、あなたの味方・仲間ですよ」という意思表示です。たとえどんなに作業の無人化が進んでも、私たちはいつも、人との関係や温かさを身近に感じ、心のバランスを保ちながら生きている。

したがって、あいさつの回数はしあわせの度合いに比例しているのです。あいさつをすればするほど、周りの人たちも自分も安心感でいっぱいになり、元気になる。たまに、野菜やお菓子やジュースだってもらえる。こんな小さな事の集まりが、ゆっくりと私たちの心に潤いと彩りを与えてくれる。僕は今、その父からの古き言い伝えと、このすばらしいスローライフを愛しています。』

この学生は現在、国立大学の大学生として、国際的な仕事に就くことを夢見て勉強中です。

近年、コミュニケーション能力の欠如が問題にされていますが、それは単に若者のケータイやゲーム機の使用による弊害というだけではなく、今の時代が速さ、スピードや手軽さ、便利さを追求し過ぎることに起因するのかもしれない。

COM 杯では、～伝えたい気持ちがある 伝える言葉がある～ を合言葉に、毎年約 60 名の参加者が、それぞれの視点からの等身大の想いを、会場の聴衆の皆さんに全身全霊で伝え、そしてその熱く純粋な気持ちと感動を共有します。現在、外資系企業や海外での活動など、すでに国際的な舞台上で活躍する COM 杯参加OBを含め、ロータリークラブの皆さまにご支援頂いたこの 10 年間で、延べ 500～600 名の未来の国際人を育成したことになります。また、留学生参加者も格段に増え、将来は日本と母国をつなぐ友好の懸け橋となってくれることでしょう。千葉科学大のある人留学生は、日本に来た理由として、「人は資源を得るために戦争をする。だから自分は資源がなくても済むように、日本で勉強している」のだそうです。資源はなくとも創意工夫がある。そして技術力がある。だからこそ、平和な日本で学ぶ意義がある。そのような崇高な思いで、

日本の、銚子の地でこの学生は学んでいます。

毎年、小中高、大学、そして留学生と、非常に大勢の大会参加者と観覧者の皆さまを迎えて、COM 杯を盛大に開催出来ますことを、心より感謝いたします。これだけ大勢の方々に支えられて、10 年間もこの大会が継続できましたこと、何よりこの銚子にこのプロジェクトがありますことを、誇りに思います。ロータリークラブの皆さまのお蔭です。引き続き、私たちの後輩たちが輝ける場を強力にサポート頂けますよう、どうか宜しくお願いいたします。

本日は貴重なお時間を頂戴し、誠にありがとうございました。

2011-12 年度 R I テーマ

1 月 17 日、米国サンディエゴで開催中の国際協議会で、カルヤン・バネルジー RI 会長エレクトが 2011-12 年度の RI テーマを発表しました。

「**こころの中を見つめよう 博愛を広げるために**」
「**Reach Within to Embrace Humanity**」



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



Reach Within to Embrace Humanity

前回の例会 (1/25) 報告

点 鐘 杉浦 武 会長

出席報告

会員総数	32 名	出席規定除外数	9 名
出席者	21 名	出席率	67.74 %
1月11日		確定出席率	87.50 %

来訪ロータリアン なし

欠席者 10名

メイクアップ なし

スモールコインBOX 小計 ¥ 1,910-

累計 ¥ 47,815-

ニコニコBOX 小計 ¥ 7,000-

累計 ¥ 346,000-

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 杉浦 武 副会長 木村 貞夫 幹事 長谷川 弘

クラブ広報・会報委員会 吉田 孝至・石上 明宏・大内 恭平・山本 幸男

表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古帳庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。